

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	福祉工場しながわ
住 所	東京都品川区東大井1-3-10
電話番号	03-5460-8601

事業所番号	1310900772
管理者名	加藤久明
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		90 点
①1日の平均労働時間が7時間以上	<input type="radio"/>	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		選択年度	① 令和5年度、令和4年度及び令和3年度	60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	<input type="radio"/>			
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上				
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上				
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上				
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満				
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満				
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点				

(III) 多様な働き方 (※)		0 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計 (注1)		1 点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上 (※)		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	<input type="radio"/>	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	<input type="radio"/>	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	<input type="radio"/>	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	<input type="radio"/>	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している	<input type="radio"/>	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		5 点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	<input type="radio"/>	
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	<input type="radio"/>	
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	<input type="radio"/>	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計	185	点 / 200点
----	-----	----------

注 1 「生産活動収支の状況」の前年度、前々年度及び前々々年度の実績は、以下のいずれかの期間の実績を算出すること。

① 令和5年度、令和4年度及び令和3年度

② 令和元年度、平成30年度及び平成29年度

それ以外の項目は、令和5年度実績で評価すること。

注 2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた間の実績を用いない就労系障害福祉サービス事業所については、報酬算定に当たって、

注 3 新型コロナウイルス感染症の影響の有無を受けた理由などを記載する届出書を作成の上提出すること。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（ 5 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	45,241	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,619	人	利用者の1日の平均労働時間数	7	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（ 4月～ 3月）

前々々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	60,133,951	円	利用者に支払った賃金総額	55,984,544	円	収支	4,149,407	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	57,999,423	円	利用者に支払った賃金総額	56,877,816	円	収支	1,121,607	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	63,264,130	円	利用者に支払った賃金総額	58,226,379	円	収支	5,037,751	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅲ)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
------------------------------	--------------------------

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
--------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
---------------------	--------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input type="checkbox"/>
-----------------------	--------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅳ)支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	<input checked="" type="checkbox"/>
①研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名 部下・後輩を育てるコーチング	
研修講師 大谷佳子氏（NHK学園）	
実施日・受講者数 6月 1日 1人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において発表	<input checked="" type="checkbox"/>
②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修、学会等名 品川社会福祉士会講演会	
実施日 2024年 2月 3日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

③視察・実習の実施又は受け入れ	<input checked="" type="checkbox"/>
③先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名	
実施日/参加者数 月 日 人	
※他の事業所名 品川介護福祉専門学校	
実施日/参加者数 10月 16日 2人	

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	<input type="checkbox"/>
※商談会等名	
主催者名	
日時 月 日	
内容	

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度	<input checked="" type="checkbox"/>
⑤職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
⑤当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日 平成16年 12月 20日	
人事評価制度の対象職員数 7名	
うち昇給・昇格を行った者 名	
当該人事評価制度の周知方法 職員会議等	

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターの配置	<input type="checkbox"/>
⑥ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間 月 日～月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

⑦第三者評価	<input checked="" type="checkbox"/>
⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input checked="" type="checkbox"/>
※評価を受けた日 令和5年3月10日	
第三者評価機関 一般社団法人日本福祉サービス評価機構	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	<input type="checkbox"/>
⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	<input type="checkbox"/>
※受理日 年 月 日	


各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	福祉工場しながわ
住 所	品川区東大井1-3-10
電話番号	03-5460-8601

事業所番号	1310900772
管理者名	加藤久明
対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>NTT東日本東京南支店 2023年12月13日以降2か月に1回 製パン事業において同社へ出張販売に出向く。 製パン事業担当利用者（従業員）2名</p>	<p><活動の様子> 当法人の広報誌（HP掲載）より抜粋</p> 
<p><目的></p> <p>この活動の発端はNTT東日本東京南支店の地域貢献活動の申し出を当法人の地域福祉課が受け止め、福祉工場しながわ製パン事業の売上、利用者賃金向上に向けた活動に仕立てたもの。同社社員の福祉啓発、地域貢献意識の向上に寄与し、一方では当方の利用者の販売技術の向上、社会性向上が期待できる。</p>	<p>福祉工場のパン工房ブチレーブでは、2か月に1回、銀座にある、NTT 東日本東京南支店で、訪問販売をさせていただいています。</p> <p>もともと、コロナ禍前、会社のサステナビリティの担当者が、ブチレーブに声をかけてくださり、つながったご縁です。コロナ禍で、リモートワークが9割になり社員食堂もなくなり、ビル内の社員間のコミュニケーションも希薄となっていた中、現在、東京南支店企画総務部企画総務担当課長である生永さんが、ブチレーブ販売再開の機会を作ってくださいました。その思いの裏には、社員が働きやすい仕事環境にしたい、社員のコミュニケーションの機会にしたい、パンを食べる楽しみが在宅から出てくるきっかけになると良い等々、そして障害者就労支援のご経験から、障害者の活躍を応援したい、少しでも社会に貢献したいという生永さんの熱い思いがありました。現在はビル内約300名の社員のうち、3割程度の出社状況だそうで、2か月に1回の販売日を楽しみに、11:30頃からお部屋の前には行列ができ</p>
<p><成果></p> <p>この活動によりNTT東日本東京南支店社員の地域貢献活動への意識が高まり、福祉工場しながわ製パン事業の売上、利用者賃金向上に繋がった。一方では当方の利用者の顧客対応等販売技術の向上、社会性向上が見られた。</p>	<p>ていました。当日のスタッフは、企画総務担当を中心に、希望制で集まった社員の皆さまがその場を仕切ってくださいました。知的障害者の理解を進め社会の関心が向くきっかけになればとブチレーブの活躍の場を、心から応援して下さっている社員の皆様の思いが、私たちにひしひしと伝わり、胸が熱くなりました。1時間もしないうちに、あっという間に完売しました。本当に感謝の1時間でした。</p> <p>NTT 東日本は、全国に拠点を置く通信の会社で、地域の皆さんと一緒に地域の困りごとを解決していきたいという共通認識を持って、地域の役に立てることを進めていってほしいということでした。皆様の思いとこのつながりに改めて感謝しています。</p> <p>誰もが分け隔てなく助け合い、「地域のために役に立てることを」目指す思いは私たちと同じ思いですね！今後どうぞ、よろしく願いいたします。</p>



連携先の企業等の意見または評価

<p>この活動により社員の障害者理解が進み、社会への関心が高まった。さらに地域の役に立てることを考えるきっかけになった。今後も継続していきたい。</p>			
連携先企業名	NTT東日本東京南支店	担当者名	生永企画総務課長

労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告

事業所名	福祉工場しながわ	事業所番号	1310900772
住 所	品川区東大井1-3-10	管理者名	加藤久明
電話番号	03-5460-8601	対象年度	令和 5 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>福祉工場しながわ 従業員ご利用者に向けての勉強会</p> <p>令和6年3月27日(水) 15時30分～16時00分</p> <p>場所：福祉工場しながわ(2階)</p> <p>説明者：篠原・松井リーダー</p> <p>目的：利用者の知識及び能力向上。</p> <p>参加人数 従業員・利用者24名</p>	<p><活動の様子></p>  
<p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に向けた勉強会</p> <p>内容</p> <p>①品川総合福祉センター規定集(福祉工場しながわ従業員就業規則)</p> <p>②福祉工場しながわの目的、方針</p> <p>③みんなで一般就労を目指そう。</p>	<p>研修資料を少し難しく作りすぎてしまった。もっとわかりやすい言葉で理解できるような資料を用意する必要がある。また次回以降、手元の資料だけでなくプロジェクターの使用も検討していく。</p>
<p><成果></p> <p>初めての試みで、利用者は緊張をされていた。今回の内容については、興味を示されている方は、資料を確認する等、積極的に参加されていた。また、逆に何を話されているか分からない方もいた。研修資料を少し難しく作りすぎてしまい、もっとわかりやすい言葉で理解できるような資料を用意する必要がある。</p> <p>内容としては、就労継続支援A型事業所と一般就労との違いを説明し、そのうえで一般就労の重要性を説明し、障害者雇用を進めている企業の説明を行うことで、皆さんにもっと前向きに作業に取り組んでいただけるよう促した。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>松井リーダーが品川介護福祉専門学校主催、「障害者版・品川福祉カレッジ」『意思決定支援研修』(令和6年1月18日)に参加、その内容から利用者への情報提供を進めた。</p> <p>今回の利用者勉強会には研修内容をアレンジし、利用者支援に繋げることができ、研修の意義が深まった。</p>	
連携先企業(担当者)	社会福祉法人品川社会福祉協議会品川介護福祉専門学校 松谷浩

利用者からの意見・評価

<p>初めての勉強会で緊張した。興味がありそうな利用者は資料を確認する等、積極的に参加されていた。また、逆に何を話されているか分からない方も多くいた。研修資料を少し難しく作りすぎてしまい、もっとわかりやすい言葉で理解できるような資料を用意する必要がある。</p>
